

短歌トークショー

『牧水の新しさ』

若山牧水研究の第一人者・伊藤一彦氏を中心に、歌人・米川千嘉子氏、小島なお氏の三人による短歌トークショー。『みなかみ紀行』を著した牧水は全国を旅しながら各地に数々の短歌を残しました。今回はその中でもあまり注目されてこなかった作品に、第一線で活躍する三人の歌人があえて注目し、自らの作品とあわせて論じ合います。

◆ 日 時

令和7年3月2日（日）

午後1時30分から（短歌大会表彰式と合わせて行います）

◆ 会 場

みなかみ町カルチャーセンター

◆ 参加費

無 料

◆ 定 員

300人程度

◆ 申 込

会場準備の都合上できるだけ事前にご連絡ください。

①電話 0278（25）5025 みなかみ町教育委員会生涯学習課

②二次元コード



◆ 出演者



伊藤 一彦 氏

読売文学賞、逋空賞ほか受賞。歌集『海号の歌』、『若山牧水―その親和力を読む』、『歌が照らす』ほか。宮崎県立図書館名誉館長／若山牧水記念文学館館長



米川 千嘉子 氏

早稲田大学在学中に、馬場あき子主宰「歌林の会」に入会。作歌をはじめ。現代歌人協会賞、若山牧水賞、逋空賞ほかを受賞。歌集に『雪岱が描いた夜』など十歌集。



小島 なお 氏

十八歳の時に最年少で角川短歌賞受賞。歌集『乱反射』、『サリンジャーは死んでしまった』、『展開図』ほか。二〇一六・二〇二〇年度NHK短歌選者。

主催 若山牧水みなかみ紀行短歌大会実行委員会 主管 みなかみ町牧水会

後援 みなかみ町、みなかみ町教育委員会、関東新聞販売（株）マイタウンたにがわ
（一財）三国路与謝野晶子紀行文学館、三成社株式会社